

第76回日本臨床眼科学会

Alcon

ランチョンセミナー 16 (LS16)

日時：2022年10月14日(金) 12:20～13:20

会場：第3会場(東京国際フォーラム Bブロック7F ホールB7(2))

# 継承 × 進化 感動を創造する プラットフォーム

座長

ビッセン宮島 弘子 先生  
(東京歯科大学水道橋病院)

演者



永田 万由美 先生  
(獨協医科大学)  
進化した Clareon®  
プラットフォームを評価する

演者



今野 公士 先生  
(インフィニティメディカル/八王子友愛眼科)  
満足と感動をもたらす  
Clareon® PanOptix®

演者



野口 三太郎 先生  
(ツカザキ病院)  
徹底検証!『Clareon® PanOptix®』  
の実力を評価する

## 座長抄録

2022年4月、世界に先駆けて待望の「Clareon® PanOptix®」が発売されました。2019年に日本初の3焦点眼内レンズとして登場した「AcrySof® IQ PanOptix®」の特徴と利点を継承し、さらに進化した眼内レンズといえます。進化の原点となるClareon®は、日本の眼科医の声をもとに開発された眼内レンズで、素材の長期透明性、屈折の安定性、術後のエッジグレアを軽減するデザインが考慮されています。すでにClareon®のプラットフォームを用いた単焦点および単焦点トーリック眼内レンズが臨床使用され、数多くの論文で、本邦で行われた治験結果を含め、その有用性が証明されています。

本セミナーでは、PanOptix®の多焦点眼内レンズとしての優れたテクノロジーを継承し、Clareon®のプラットフォームを掛け合わせることで、さらに進化したClareon® PanOptix®の最新の知見をご紹介します。白内障手術のエキスパートである、永田万由美先生、今野公士先生、野口三太郎先生に、感動を創造するプラットフォームについて、単焦点、トーリック、3焦点を有する「Clareon® コレクション」のポテンシャルとともに、屈折矯正白内障手術としての極意など、Clareon®そしてClareon® PanOptix®の基礎から応用まで、幅広い内容でご講演いただく予定です。皆様の眼内レンズの材質、多焦点眼内レンズの機能に関する知識をアップデートしていただければ幸いです。

共催：第76回日本臨床眼科学会／日本アルコン株式会社

Alcon

SMS384-1

2207TNK  
JP-CPO-2200047